

令和4年度 新人兼県民総合スポーツ大会 卓球の部 大会要項

主催 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県学校体育協会

後援 (財)埼玉県体育協会 熊谷市教育委員会 埼玉県卓球協会

主管 埼玉県中学校体育連盟卓球専門部

- 1 期 日** 令和4年10月31日(月) 男子団体戦 [決勝まで]
11月 1日(火) 女子団体戦 [決勝まで]
11月 2日(水) 男女シングルス・ダブルス [決勝まで]

2 会 場 彩の国くまがやドーム (〒360-0004 埼玉県熊谷市上川上300)

3 日 程 10月31日(月)・11月1日(火)・11月2日(水) 3日間
[受付] 8:50~9:20 [諸注意] 9:30~

- ・ 午前8時50分までは入館できない。
- ・ 2階入口付近にて受付を行う。受付終了後入館することができる。
- ・ 受付で「健康観察記録表」を必ず提出すること。
「健康観察記録表」に名前のない者の入場は認めない。
- ・ 午前8時50分以前の開館の問い合わせや開館要求をしない。
- ・ 引率教員、生徒、保護者は同時に入館する。
- ・ 体育館への電話連絡をしない。

4 種 目 団体戦 [4単1複] (男子団体・女子団体)
個人戦 (男女シングルス・男女ダブルス)

5 参加数 各地区代表 [団 体] 男子80チーム 女子80チーム
[シングルス] 男子92名 女子92名
[ダブルス] 男子80ペア 女子80ペア

6 使用球 公認試合球 (スリースター・ホワイト・プラスチック製)

7 県大会当日の持ち物・提出物

(1) 持ち物 消毒液 (各校持参)

(2) 提出物

- ① 健康観察記録表
- ② 名札入れ (入場する大人の分)

8 競技上の注意

- (1) 競技ルールは現行の日本卓球ルールに準じて行う。
- ・サービスは、ボールを16cm以上、投げ上げることを徹底する。
 - ・タオルで汗を拭く場合は、原則、両者の得点の合計が6の倍数のときとする。

- (2) ゼッケンを必ず背中につける。(右記参照)

[日本卓球協会のもので可とする。]

- (3) ユニホーム上下は、公認マークが入ったものを着用する。団体戦では色のデザインがそろったものを全員が着用する。個人戦のダブルスは、



ペアでユニホームのデザインをそろえたものを着用する。着用していない場合は、試合に出場することができない。

- (4) 団体戦の登録人数を6名以上10名以内とする。未登録の選手を試合に起用した場合は失格となる。また、登録した選手名でその名前と違う選手が出場した場合も失格となる。
- (5) ベンチに入れるのは各校10名以内の生徒と監督(顧問、外部指導者[アドバイザー]、部活動指導員)のうち**2名まで**とする。外部指導者[アドバイザー]は日頃から当該校の指導し校長が認めた者に限る。部活動指導員は、年度当初に県教委に任命されている者に限る。なお、外部指導者[アドバイザー]または部活指導員はそれぞれ1名ずつ申請することができる。

外部指導者[アドバイザー]または部活動指導員の申請については、所定の大会参加申込書に記入し県大会代表者会で提出する。申込書に記入されていない場合には一切認められない。大会時には本部より貸し出すアドバイザー証を身につけてベンチに入ることとする。また、顧問監督または外部指導者[アドバイザー]の変更については、所定の変更届に記入し、大会受付時に必ず提出する。なお、試合開始後の変更は原則認められない。

- (6) 団体戦においては監督、個人戦においては監督および選手が抗議権を持つ。

- (7) ゲーム間のアドバイスは、1分以内で認める。ただし、試合中のタイムアウトは、現在のところ認めていない。(※県大会代表者会で確認する)

- (8) ベンチや観客席から相手選手に不快感を与えるような言動や、動揺を与えかねない指示等は厳に慎む。顧問は生徒にマナーを守るように十分指導しておく。また、観客席から試合中の選手へのアドバイス等やそれに疑われる言動をしてはいけない。

- (9) ラケット交換は、お互いにラケットを見せ合うのみとする。

- (10) 団体戦のオーダー交換は、試合前に各コートで速やかに行う。

- (11) 団体戦のあいさつは、原則として監督教師も整列する。

- (12) 団体戦の選手のベンチは、若い番号のチームが本部に向かって左側とする。

- (13) 審判は、団体戦、個人戦ともに原則として敗者審判とする。審判は、公正に毅然とした態度で判定にあたる。また、審判はジェスチャーをはっきりと示す。

《ポイント》 得点側の片手をグーにして肩へ上げる。 《レット》 片手をパーにして頭上へ上げる。審判員が判断しかねるトラブルが生じたときは、試合を一旦中断し、審判長(本部)に即座に報告し、その判定に従うこと。

- (14) 試合結果については、団体戦の場合は「勝ったチームのキャプテン」が速やかに本部へ記録(オーダー)用紙を持って報告する。また、個人戦の場合は、「勝った選手本人」が速やかに本部へ報告する。

- (15) 促進ルールについては、試合開始10分経過後、対戦両者のポイントの合計が18点に満たない場合に適用される。促進ルールが適用される可能性のある試合では、あらかじめ両チームで計時をしておく。適用条件になった場合には、試合を一旦中断し、審判長(本部)に即座に連絡する。本部からストロークカウンターを配置する。

9 県大会運営上の注意（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を含む）

（1）大会参加人数や観戦者について

①団体戦・個人戦における引率等の教員、監督教員、外部アドバイザー、部活動指導員などは1チームにつき（1学校男女別に最大で）3名までとする。それを超えての入場は認めない。ただし、ベンチに入れるのは各校10名以内の生徒、監督は団体戦の場合2名のみ、個人戦は1名のみとする。

（「監督」とは、顧問、外部アドバイザー、部活動指導員を指す。）

※ 大人3名が参加するパターンは、次の（ア）と（イ）のどちらかとなる。

（ア）顧問2名＋アドバイザー1名

（イ）顧問1名＋部活動指導員1名＋アドバイザー1名

（「顧問2名＋部活動指導員1名」や「顧問1名＋アドバイザー2名」は不可）

②団体戦の登録人数を6名以上10名以内とする。

③会場に入れる観戦者は、団体戦登録メンバー10名＋それ以外の観戦者10名とする。

（「観戦者」は応援生徒もしくは保護者を指す。なお、未就学児および児童の同伴はできない。）10名の観戦者は、応援生徒6名＋保護者4名や、応援生徒8名＋保護者2名など、各学校で入場する人は10名を超えない範囲で調整する。なお、顧問とアドバイザー、部活動指導員や管理職は、この10名には含まない。

④個人戦の観戦者については、県大会出場選手に加え、出場選手1名につき1名の保護者または応援生徒の観戦を可とする。例えばシングルスに1名出場の場合、観戦者として応援生徒1名か、保護者1名を選ぶことができる（応援生徒か保護者のどちらか1名のみとする）。また試合前の練習については、双方またはどちらかが初戦に限り、対戦相手と2分程度の練習を実施するので、自校での練習相手の必要はない。（観戦者については、「健康観察記録表」の提出が必要）

（2）入場者について

①写真業者も中体連で指定した業者を除き、入場は認めない。

②卓球部が設置されていない学校で、当該校が認めた正式な保護者引率の場合については、その保護者のみ会場への入場を許可する。ただし、「健康観察記録表」を提出する。忘れた場合は入場できない。卓球部が設置されている学校は、教員が引率を行う。

（3）諸注意および表彰

①試合開始前に諸注意等を行い、優勝杯返還や選手宣誓を行う予定である。

②試合終了後は表彰のみを行う予定である。

③諸注意は、2階観客席の自席に着席した状態で実施する。

(4) 新型コロナウイルス感染症の対応について

①風邪などの症状があった場合は、医師の判断で新型コロナウイルスではないと診断があれば出場を認める。発熱(37.5℃以上)している場合、医師の判断がなければ会場には連れて来てはならない。なお、医師の判断なしに連れてきてしまった場合、陽性者、濃厚接触者の可能性があるため、本大会にはチームとして出場することができない。ただし、当日の朝は平熱であり、会場において発熱(37.5℃以上)している場合は、速やかに本部に報告をし、本部の指導のもと、大会責任者の判断に委ねることとする(原則、保護者に連絡をし、迎えに来ていただくこととなる)。その際、他の生徒の大会参加については、役員等で協議し判断する。

②「健康観察記録表」は、当日の会場入口において各学校提出する。「健康観察記録表」は卓球専門部指定のものを使用する(卓球専門部のホームページ(<https://saichutaku.info/>)よりダウンロード可)。当日、「健康観察記録表」を忘れた学校については大会参加を認めない。

(5) 会場への交通手段について

今大会は、貸切バスでの参加を認める。会場に駐車することができるが、駐車場が満車の場合は、会場に駐車することはできない。

(6) 会場の入場・退場方法について

入場については役員への指示に従い、ソーシャルディスタンスを保ちながら学校ごとに整列して2階からの入場とする。受付時に「健康観察記録表」を提出する。また、生徒・顧問・外部指導者[アドバイザー]、保護者等の退館はすべて1階とする。

(7) 新型コロナウイルス感染症等対策

①マスクの着用について

試合中のマスク着用は選手の判断に委ねるが、着用していない場合は得点時や打球時などに声を出さないようにする。審判や応援時、2階等での試合観戦については必ずマスクを着用し、応援は拍手のみとする。

②競技中、台で汗をぬぐう、滑り防止のためシューズの裏を手で拭くなどはしない。

③水筒を他人(顧問やチームメート、外部指導者[アドバイザー]等)が渡すことはしない。タオルや水筒の共用もしない。

④選手同士の不要な接触(ハイタッチ等)はしない。

⑤選手や監督同士の試合前および試合後の握手は行わない。

⑥その他、この要項に記載してある感染症等対策を講じて運営を行うものとする。

10 会場使用上の注意（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を含む）

【全般的な注意事項】○密となる状況をつくらないようにする。

○競技中を除いてマスクを着用し、手洗い、手指消毒などを行う。

(1) 来場について

- ①彩の国くまがやドームの館内は、すべて上履きを使用することになっている。また、下足は各自が用意した袋に入れて、観客席に持っていく。
- ②電車やバスなどの公共交通機関を利用する際は、一般の方々の迷惑にならないようにする。徒歩や自転車での移動でも、一般の方々の迷惑にならないように移動する。
- ③参加生徒には、行き帰りの道中の態度、身だしなみ、館内での過ごし方等におけるルールやマナーを守るように、事前に引率顧問は十分に指導しておく。

(2) 入場(入館)について

- ①開館時刻は8時50分の予定となっている。整列入場を行う。チームごとに関係者(選手・監督・外部指導者、部活動指導員、保護者)は同時に入館する。
- ②入場時に「健康観察記録表」を提出するとともに、手指消毒を行う。

(3) 2階観客席等の利用について

- ①座席は地区ごとに割振りを行う。
- ②座席を移動しての応援、通路等での応援等はしない。昼食も自席で食べる。(黙食)荷物は座席の下に置き、通路には荷物を置かないこととする。
- ③顧問の先生は、新型コロナウイルス対応のため、どの生徒がどこの指定席に座ったかわかるように、記録を残しておく。
- ④館内には多くの来場者がいる。参加生徒は、館内で走り回ったり、壁打ちをしたりするなど、来場者や周囲の人たちへの迷惑行為とならないように注意する。
- ⑤トイレはきれいに正しく使用する。
- ⑥体育館内の施設は、すべてのものを丁寧に扱い、必要のないものには手を触れないようにする。また、指定された以外の施設内への立ち入りは決してしないこと。
- ⑦帰るときは、座席付近にゴミが落ちていないか、忘れ物がないか確認する。

(4) 競技会場について

- ①45台を使用する。
- ②出入口は可能な限り開放しておく。
- ③水分補給をする際には、水滴を含めフロアにこぼさないように注意する。

(5) 競技について

- ①カットマンにおける卓球台の移動については行わない。なお、エンド(ベンチ位置)は、対戦番号が若い番号の学校、選手が本部席に向かって左側とする。
- ②汗ふきタオルは直接卓球台にかけないようにすること。バッグやラケットケース等を台の下に置き、その上にタオルを置くようにする(床等に直に置かない)。

(6) 会場内の移動について

- ①階段では移動が一方通行になるようにする。
- ②通路や廊下、ロビーに立ち止まっていることのないようにする。

(7) その他

- ①通路、廊下、ロビーなどを荷物置き場やベンチとして使用しない。
- ②1試合ごと、また食事の前には、手洗いと手指消毒を行う。
- ③ガム、アメ、菓子類、缶ジュース類の飲食、またゲーム機器や音楽機器、スマートフォンや携帯電話等の使用は禁止とする。
- ④盗難、ケガ、器物破損、事故が発生した場合は、直ちに本部に連絡する。
- ⑤引率教師(顧問)が選手の貴重品を管理する。
- ⑥落とし物や紛失物がないように、各自(各チーム)で荷物の管理を徹底する。大会中の落とし物については、令和4年11月30日まで(深谷市立岡部中学校)で保管する。
- ⑦本大会における各校の横断幕の設置は不可とする。

1.1 試合進行（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を含む）

(1) 団体戦について

- ①アナウンスで台に入る。（タイムテーブルにそって、進行する）
- ②初戦のみ、試合開始前に2分間の練習時間がある。1回戦は放送で一斉に2分間をとる。2回戦目以降は各チームで時間を計測する。また、各チーム2台を割り当て、チーム内で譲り合って使用する。
- ③トスの後、お互いにラケットを見せて3本練習し、試合を始める。
団体戦の勝敗は順番関係なく、3本決まった時点で勝敗を決定する。
- ④試合終了後あいさつを行い、勝ったチームはオーダー用紙を持って本部に報告する。
試合に負けたチームは審判があるので、放送が聞こえる場所にいる。

(2) 個人戦について

- ①アナウンスで台に入る。
- ②初戦のみ試合開始前に2分間の練習時間がある。1周り目の試合のみ、全体の放送で練習を始める。それ以降は各自で2分間を計測する。また、お互いに試合を1試合はしている3回戦以降は2分間の練習は行わない。
- ③ジャンケンした後、お互いにラケットを見せて3本練習し、試合を始める。
- ④試合終了後、あいさつを行い、勝った選手は本部に報告する。試合に負けた選手は審判があるので、放送が聞こえる場所にいる。

(3) その他

- ①入場したら、すぐに2階観客席のベンチに座り、諸注意を待つ。
- ②試合はすべて放送により入る。放送されたらベンチからコートに向かう。アリーナ出入口で待機することはできない。
- ③審判は、シングルの試合は1人、ダブルスの試合は2人で行うものとする。

(4) 審判について

- マスクをつけて審判を行う。
カウンター（得点板）を使用するものとする。
（アリーナ入場時と退場時に手指消毒を行う。）

《参考資料》

【県中体連(関東・全国も同様)における外部指導者[アドバイザー]の規定】

- 外部指導者の資格として、
- 1 当該校長が認めた成人(18歳以上)であること。
 - 2 日頃から継続して、その学校の部活の指導にあたりしている者。
 - 3 複数の学校及び、複数種目の外部指導者としてベンチ入りはできない。
 - 4 小・中・高の「教職員」は、外部指導者として各大会には登録できない。
※学校の事務員、講師、用務員、教育委員会指導主事等も不可。
 - 5 外部指導者のみで生徒の引率はできない(部活動指導員は除く)。

※上記については、今大会に限ったものではない。

令和2年度および令和元年度の新人兼県民総合スポーツ大会のカップ等の返還があります。下記の学校は、大会当日に必ずご持参いただき、本部に渡してください。

男女団体と男女シングルス→令和2年度 / 男女ダブルス→令和元年度

【男子団体】

優勝校 小川町立西中学校 (優勝旗・優勝杯)

準優勝校 富士見市立勝瀬中学校 (準優勝杯)

【女子団体】

優勝校 さいたま市立日進中学校 (優勝旗・優勝杯)

準優勝校 新座市立第二中学校 (準優勝杯)

【男子個人】

シングルス優勝 富士見市立勝瀬中学校 (優勝杯)

ダブルス優勝 和光市立第二中学校 (優勝杯)

【女子個人】

シングルス優勝 所沢市立所沢中学校 (優勝杯)

ダブルス優勝 所沢市立三ヶ島中学校 (優勝杯)